

「新設計法に 대응する」

横河技術情報 APOLLO

横河技術情報は鋼橋設計ソフトAPOLLOを全国7カ所で開催している講習会を今月から対応済みの同ソフトを利用した部分係数設計法に関する。昨秋から新示方書に

もの部分係数法の特徴などを、コンサルタントなどの設計技術者向けに講習するもの。午前の部はAPOLLOユーザー向けに具体的なソフトの使い方、午後の部はユー

ザー以外も対象に部分係数設計法のポイントや許容応力度設計法との比較などを講習する。

14日は東京会場で、100人程度が参加した(写真)。

27日は広島、28日は福岡で予定されており、会場に若干の余裕があることから、引き続き申し込みを受け付けている。

小林明社長によれば「(許容応力度設計法から部分係数設計法への)今改定を受けて、NEXCOや補修分野など関連する要領の改訂もこれから出てくる。それらに対応したソフトのバージョンアップも迅速に進め、100年橋梁を目指した新しい設計法に「応えていきたい」という。

来年度はこれに加え、CIMやiBridgeの展開に注力する考えだ。



講習会の様子